



(旧) 岡山小学校校歌 (明45・4)

- 一、我岡山と山の井の
川の辺に立並び
郡内一の大校は
名に負う岡山小学校
- 二、南に水田北に畑
中を貫く県道や
軌道の手絶間なく
交通運輸の便利あり
- 三、我岡山の此の山は
明治の帝のかしこくも
大演習の御幸に
御野立まし跡ぞかし
- 四、春は桜の花の雲
秋は紅葉の唐錦
菜種富草おりおりの
四方の眺ぞうるわしき
- 五、此のよき村に住める身は
如何なることをか勤むべき
此学舎に通う身は
如何なる道をか守るべし
- 六、我岡山の動きなく
忠と孝とを守るべし
山の井川の淀みなく
学と業とを勤むべし

(現) 岡山小学校校歌

- 一、みどりの沃野うるおして
流れもつきぬ山の井の
川のほとりに立ち並ぶ
これぞ岡山小学校
- 二、わが岡山を一望に
高くそびゆる竜頭の
明治の帝のかしこくも
お野立ちましし跡ぞかし
- 三、春は菜種の花の海
秋は錦のはぜもみじ
五穀のみのお茶の香に
めぐみぞ深き幸の村
- 四、竜頭山のゆるぎなく
山の井川のとどみなく
長き歴史に輝ける
ほまれも高きわが母校
- 五、千余の健児手をとりて
進取自律の意気高く
真理をたずね正をふみ
いざや進まんもろともに